

24時間、住民の大切な生命・財産を守る

広域消防本部視察

11/20
金

於 本庄市

消火、救急及び救助業務等を365日24時間体制で日夜活動している広域消防本部へ視察に行きました。きっかけは、前号で掲載した広域消防本部職員の「大型・中型自動車運転免許及び、2級・特殊小型船舶操縦士免許取得者数一を見た時から始まりました。大型・中型自動車免許はともかく、58人の消防士さんが2級小型船舶、56人が特殊小型船舶のライセンスを取得していることへの驚きからです。（両方持つ人有り）

伺った時には既に、救助艇と水上オートバイが外に見やすいように展示してありました。使い込んだ潜水器具等も並べられており、万が一のための物ではなく、日常において使われていることが感じられる道具類です。救助ばかりと思いきや、時には、体に石を巻き付けて川に身を投げた人を潜水して「一刻も早く家族の元へ帰してあげたい」という強い思いで探し出したこともあったそうです。

次に、広域消防本部の中を案内してもらいました。高機能消防指

令センターでは待機中であつたため、私の家が火事であることを想定して住所を入力し航空写真で探し出してもらいました。ここまでは普通ですが、家を中心に何重もの輪があり、質問すると消防車と家の距離が分かり、消火用のホースが何メートル必要か分かるシステムだそうです。

また、裏庭にヘリポートがあることを知らされ驚きました。ドクターヘリは川越市にある埼玉医科大学総合医療センターヘリポートに常駐しており、ここ本庄市まで15分足らずで到着するので、ヘリポートで重症患者を乗せた救急車の到着を待っていることもあるそうです。

24時間、365日、住民の大切な生命・財産を守る児玉郡市広域消防本部の心意気を焼き付け「安心」「元氣」をもらい帰宅しました。

議会だより編集委員会
副委員長 堀越賢司



指令室（高機能消防指令センター）



救助艇

